



カゼノウタ



超・短編詩集

vento

「セカイの中で」

この矛盾だらけのセカイに、何かを求めて生きている。

「常識」という名前のカベが俺の邪魔をするんだ。

自由と横暴を履き違えているつもりはない、スジを無視するつもりもない。

ただ自分のやりたいことをやろうとしてるだけなのに、

前例が無いとか、ナマイキだとか、そんな理由で拒む事はしないで、

目の前に立ち塞がるカベは乗り越えるんじゃないで、

どんな風でも構わないから壊して行け。

新しいことを始める時に批判や軽蔑は付き物だから。

「意味があるからやるんじゃないで、意志があるからやるんだ。」と

自分に言い聞かせながら、今日も行くよ、このセカイを。

前途多難？大いに結構。途中でくたばったなら、それまで。

何度倒れても立ち上がれば見えるさ、目の前の景色が。

流せる汗がある。流せる血がある。流せる涙がある。

生きてる、俺がいる。

やりもしないで後悔するんじゃなくて、やってみてから後悔しよう。

その方がきつといつか笑い話に出来るからさ。

新しいことを始める時には希望も野望も溢れてる。

「あの時、選んだことは、間違いじゃなかった。」と

明日の自分に言えるように、これからも行くよ。このセカイを。

すべてのことに答えなど無い、自分自身が「問い」である、このセカイを。

賽子

君、想う。

独りよがりの思い出なれど、

僕には1つの尊きものさ。

言葉にすれば簡単なのか、言葉にするから枷（かせ）となるのか、

人の心は移りゆくもの。今となっては誰にも解けぬ。

色恋沙汰とは賽（さい）の様。

ころころ、ころころ転がって、

留まる先を何処かと知りたくなるがは

人の性。

運と度胸を味方につけても、振ってしまえば、

後には戻れぬ。

吉と出るか、凶と出るかは

振ってからしか、

わからんさ。

「限りなく青い夢と空」

青い空に無限の夢を
君は「現在」をどうしてる？

忙しすぎる毎日に疲れてしまったのは、
自分だけでは無いと見知らぬ人が言う。
誰もが先を争って生き急ぐ「現代」の中で、
僕が掴んできたものは、いつの間にか
その手からこぼれて無くなっていた。

青い空に描き出す
虹の筆でキレイな「明日」を
白い雲のパレットには
夢の色が溢れてる。

ノイズだらけの人波に、吞まれてしまったのは、
「あなたが弱だけ。」と、身勝手な人が言う。
誰もが耳を塞いでる、複雑な「現代」の声に
僕が信じてたものは、ひとつだけ
この胸にちゃんと遺っていた。

青い空に歌ってる
「昨日」に聴いた風の歌を。
白い雲の五線譜には、
夢の音が並んでる

果て無き空は形を変えずに
「時代」を見つめてる
ずっと、ずっといつまでも

古いノートに書いてある
誰かに託した「過去」の言葉

青い空に無限の夢を
君は「未来」^{あと}になにを見る

「L I F E」

何気無く過ごしていた少年時代に
僕は何を思っていたらろう？
まだ見ぬ世界への希望、
ホントにあるのか解らない天国と地獄、
大好きだったヒーローの正体、
そんな事思っていたよな気がするよ。

そして、いつの間にか僕は大人になろうとしている。
愛する人達の手を離れ、
自分の人生を歩こうとしている。

僕は旅人だ。人はみな旅人だ。
人生と言う旅路を歩き、
生きる事の意味を知るだろう。
生きる事は簡単じゃない。
それは誰かが教えてくれる事じゃなくて、
自分が1番解ってるはずさ。

ハートに光をそっと。

歩いても、歩いても、見えてこない、
明日に向かうための道しるべ。
誰か僕に教えてよ、
助けてくださいと叫ぶ、
僕の声は届かない。
「自分の力で前に進め。」
そう言って、僕を突き放した君。

そして、僕は辿り着く、
この旅路の目的地。
誰の物でも無い、
僕だけの「未来」と言う、
夢のカタチ。

僕は夢人だ。人はみな夢人だ。
人生と言う旅路の果てに、
生きる事の意味を知ったなら。

僕は旅人だ。人はみな旅人だ。
人生と言う旅路を終えて、
次の旅人達のために
再び大地に帰ろう。
そして、僕が生きた証を残そう。

子供達に夢をきつと。

君のために愛をずっと。

ハートに光をそつと。

あとがき

最後まで読んでくれてありがとうございます。

この詩集に載せたものは自分が10代の頃から

趣味で書いてきた詩や歌詞で、その中でも気に入ってるものを選びました。

「カゼノウタ」というタイトルはこの詩集の詞の中にも出てくる言葉の中から引用しました。風には音や匂いがあると自分は思います。

季節によって色々な感覚を与えてくれる風が自分は好きです

形が無く触れることも出来ないけど、風の音は歌っているように聞こえる時があるんです。

読んでくれた皆さんにもカゼノウタが聴こえますように。

ありがとうございました。